

令和8年度年間授業計画

教科英語科目英語コミュニケーションⅠ

教科：英語科目：英語コミュニケーションⅠ単位数：3単位

対象学年組：第1学年

教科担当者：	1組 神沼・本田	2組 河内・本田	3組 本田・石黒	4組 河内・石黒	5組 長・本田	6組 石黒・本田
使用教科書：	教科書：Crossroads English Communication Ⅰ（大修館） 副教材：ワークブック・スタンダード（大修館）、Take It Easy (National Geographic Learning)、English Central					

教科	英語	の目標：
【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。	
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を尊重し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。	

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
聞く・読む・話す（やり取り、発表）・書くことを通して、多くの支援を活用しつつ、目的や場面、状況などに応じて適切に英語でコミュニケーションするという、科学技術者に必要な技能を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、多くの支援を活用しながら、科学技術者に必要な英語力すなわち、英語で概要や要点や詳細をとらえ、話し手や書き手の意図を理解し、適切に表現したり伝えあったりする力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使って、科学技術者として必要なコミュニケーションを図る態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元 1 Living Abroad	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	時制や動名詞を理解し、科学技術者の育成に必要な異文化理解について、情報や考えを即興で伝えあう技能を身につける。	【異文化理解】	①時制や動名詞を用いた文の構造を理解している。 ②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	8
	新しい文化の中で生活する人が直面する問題を理解し、支援する取り組みについて考えを伝え合う力を養う。	教科書、副教材等	新しい文化の中で生活する人が直面する問題を理解し、支援する取り組みについて考えを伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出・関連動画を用いた学習	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元 2 Connecting People Across Cultures	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	受動態や不定詞を理解し、海外の人々との文化の共有について考えを即興で伝えあう技能を身につける。	【国際協調】	①受動態や不定詞を用いた文の構造を理解している。 ②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	11
	国境を越えた文化交流について理解したことを基に、海外の人々との文化の共有について、考えや気持ちを伝え合う力を養う。	教科書、副教材等	国境を越えた文化交流について理解したことを基に、海外の人々との文化の共有について、考えや気持ちを伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出・関連動画を用いた学習	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	定期考査（第1学期中間考査）/返却と解説						2
	単元 3 Studying Foreign Languages in the Age of AI	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	分詞や関係代名詞を用いた文の構造を理解し、AIを活用した外国語学習について情報や考えを即興で伝えあう技能を身につける。	【AI・外国語学習】	①分詞や関係代名詞を用いた文の構造を理解している。 ②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	11
	今日のAI社会において事実を暗記する学習は必要か、自分の考えを理由や根拠も含めて伝えあう力を養う。	教科書、副教材等	今日のAI社会において事実を暗記する学習は必要か、自分の考えを理由や根拠も含めて伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出・関連動画を用いた学習	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元 4 Problems in the Oceans	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	仮定法過去や形式主語itの使い方を理解し、海洋問題について情報や考えを即興で伝えあう技能を身につける。	【海洋環境】	①仮定法過去や形式主語itを用いた文の構造を理解している。 ②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身につけている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	8
	海洋資源や資源の保護についての情報や要点をまとめ、情報の概要や自分の考えを理由や根拠も含めて簡潔に話し合う力を養う。	教科書、副教材等	海洋資源や資源の保護についての情報や要点をまとめ、情報の概要や自分の考えを理由や根拠も含めて簡潔に話し合っている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出・関連動画を用いた学習	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	定期考査（第1学期期末考査）/返却と解説						2

令和	8	年度	年間授業計画	教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅠ
教科：	英語	科目：	英語コミュニケーションⅠ	単位数：	3	単位	
対象学年組：	第1	学年					
教科担当者：	1組 神沼・本田	2組 河内・本田	3組 本田・石黒	4組 河内・石黒	5組 長・本田	6組 石黒・本田	
使用教科書：	教科書：Crossroads English CommunicationⅠ（大修館） 副教材：ワークブック・スタンダード（大修館）、Take It Easy (National Geographic Learning)、English Central						

教科	英語	の目標：
【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。	
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を尊重し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。	

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
聞く・読む・話す（やり取り、発表）・書くことを通して、多くの支援を活用しつつ、目的や場面、状況などに応じて適切に英語でコミュニケーションするという、科学技術者に必要な技能を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、多くの支援を活用しながら、科学技術者に必要な英語力すなわち、英語で概要や要点や詳細をとらえ、話し手や書き手の意図を理解し、適切に表現したり伝えあったりする力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使って、科学技術者として必要なコミュニケーションを図る態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
2 学 期	単元 5 Alex's Lemonade Stand	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	過去完了形を理解し、ボランティア活動・社会貢献活動について、情報や考えを即興で伝えあう技能を身に付ける。	【ボランティア】	①過去完了形を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	11
	ボランティア活動について理解し、チャリティやボランティアについての考えなどを理由や根拠も含めて伝え合う力を養う。	教科書、副教材等	ボランティア活動について理解し、チャリティやボランティアについての考えなどを理由や根拠も含めて伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出・関連動画を用いた学習	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元 6 Learning from the Okinawans	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	目的語にif節をとる分構造を理解し、長寿と健康に関わるライフスタイルについて、情報や考えを即興で伝えあう技能を身に付ける。	【健康・ライフスタイル】	①目的語にif節を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	8
	長寿と健康につながるライフスタイルについて理解したことを基に、自分の考えなどを理由や根拠も含めて伝え合う力を養う。	教科書、副教材等	長寿と健康につながるライフスタイルについて理解したことを基に、自分の考えなどを理由や根拠も含めて伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出・関連動画を用いた学習	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	定期考査（第2学期中間考査）/返却と解説						2
	単元 7 Dick Bruna and Miffy	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	分詞構文や関係代名詞whatの用法を理解し、世界的に有名な絵本について情報や考えを即興で伝えあう技能を身に付ける。	【芸術】	①分詞構文や関係代名詞whatを用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	11
	自分の好きな有名人について、理由を含め具体的に説明する力を養う。	教科書、副教材等	自分の好きな有名人について、理由を含め具体的に説明できている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出・関連動画を用いた学習	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元 8 Beyond Borders	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	関係代名詞の非制限用法や進行形の受動態を理解し、道徳について情報や考えを即興で伝えあう技能を身につける。	【教育・探究】	①関係代名詞の非制限用法や進行形の受動態を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝えあう技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	8
	日本と他国との文化的な類似点について自分の考えを伝えあう力を身につける。	教科書、副教材等	日本と他国との文化的な類似点について自分の考えを伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出・関連動画を用いた学習	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	定期考査（第2学期期末考査）/返却と解説						2

令和8年度年間授業計画

教科英語科目英語コミュニケーションⅠ

教科英語科目英語コミュニケーションⅠ

単位数3単位

対象学年組：第1学年

教科担当者：	1組 神沼・本田	2組 河内・本田	3組 本田・石黒	4組 河内・石黒	5組 長・本田	6組 石黒・本田
使用教科書：	教科書：Crossroads English CommunicationⅠ（大修館） 副教材：ワークブック・スタンダード（大修館）、Take It Easy（National Geographic Learning）、English Central					

教科	英語	の目標：
【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。	
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語で概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図を尊重し、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりする力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図る態度を養う。	

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
聞く・読む・話す（やり取り、発表）・書くことを通して、多くの支援を活用しつつ、目的や場面、状況などに応じて適切に英語でコミュニケーションするという、科学技術者に必要な技能を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、多くの支援を活用しながら、科学技術者に必要な英語力すなわち、英語で概要や要点や詳細をとらえ、話し手や書き手の意図を理解し、適切に表現したり伝えあったりする力を養う。	多くの支援を活用して、コミュニケーションの相手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を使って、科学技術者として必要なコミュニケーションを図る態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
3 学 期	単元9 The Vancouver Asahi: The Road to Acceptance	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	強調構文や仮定法過去完了を理解し、差別や偏見の乗り越え方について考えを即興で伝え合う技能を身につける。	【差別・偏見】	①強調構文や仮定法過去完了を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	8
	異なる背景を持つ人々を結び付けるには何が必要か、自分の考えを伝えある力を養う。	教科書、副教材等	異なる背景を持つ人々を結び付けるには何が必要か、自分の考えを伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出・関連動画を用いた学習	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元10 Paddington Bear and the Refugee Story	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	助動詞＋完了形や関係副詞を理解し、ユダヤ人難民の子どもたちが直面した困難について考えを即興で伝え合う技能を身に付ける。	【戦争・平和】	①助動詞＋完了形や関係副詞を用いた文の構造を理解している。②基本的な語句や文を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】	○	○	○	11
	ユダヤ人難民の子どもたちが直面した困難について理解したことを基に、自分にひきつけて考えや気持ちを伝え合う力を養う。	教科書、副教材等	ユダヤ人難民の子どもたちが直面した困難について理解したことを基に、自分にひきつけて考えや気持ちを伝えている。				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組む態度を養う。	課題の提示・提出・関連動画を用いた学習	上記のことについて、授業内外の取組や発表を通して主体的、自律的に取り組んでいる。				
	単元11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	単元12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	【知識及び技能】	・指導事項	【知識・技能】				
	【思考力、判断力、表現力等】	・教材	【思考・判断・表現】				
	【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用（場面）	【主体的に学習に取り組む態度】				
	定期考査（学年末考査）/返却と解説						2